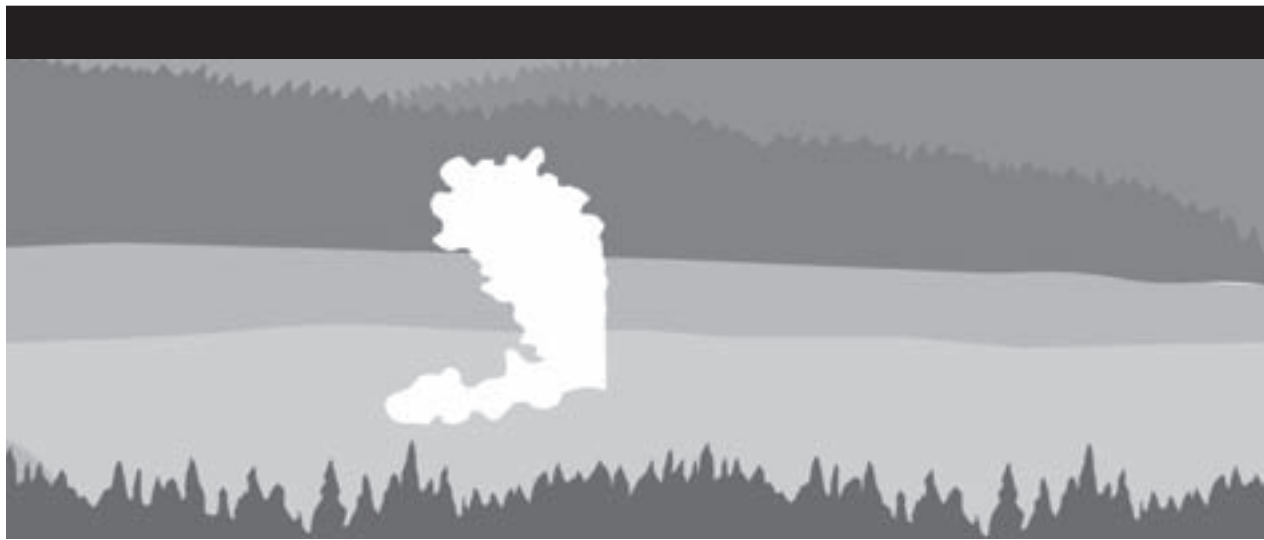


イエローストーンへようこそ



重要な電話番号

緊急ダイヤル: 911

一般情報: 307-344-7381

宿泊施設情報: 307-344-7311

聾啞者用通信機器: 307-344-2386

ウェブサイト www.nps.gov/yell

イエローストーンは「ワンダーランド」

イエローストーン国立公園は昔から、そこを訪れた人々に「ワンダーランド」(不思議の国)と呼ばれてきました。これは今日でも通用するびっぴりの呼称です。次に見どころを紹介しましょう。

間欠泉、温泉、噴気孔、坊主地獄 これらの熱泉群は公園のあちこち、特にマンモスホットスプリングス(Mammoth Hot Springs)とオールドフェイスフル(Old Faithful)の間に多く存在します。公園の東側にあるウエストサム(West Thumb)や泥火山(Mud Volcano)もお見逃しなく。

野生動物 公園はよそではあまり見られない多様な野生動物を保護しています。エルク、シカ、オオツノヒツジ、バイソン、ムース、ワシ、コヨーテ、オオカミ、クロクマ、灰色グマ等を見かけるでしょう。

イエローストーンのグラウンドキャニオン 道路の待避所やハイキングトレイルからの息をのむような色彩や滝をご覧ください。落差94メートルのローアー滝は公園の中で最も落差の大きい滝です。

イエローストーン湖、小川、川、滝 公園内のこうした水路は景観美を誇るだけでなく、野生動物に生息環境を与え、また魚釣りやボート漕ぎといったレクリエーションの場を提供しています(許可が必要)。

イエローストーンの歴史 イエローストーン国立公園の1万年の人類の歴史を展示や書籍を通じて探索することもできます。ビジターセンターにお立ち寄りください。

出発に備えて

以下に掲げるプログラムや活動は、いくつかの例外を除き英語のみで行われます。ここに記載されている情報は変わることがあります。

地図および出版物 道に迷わないように、公園の入口で配布する新聞や『Map and Guide』に載った地図をよくご覧ください。『Map and Guide』はビジターセンターにも置いています。

ビジターセンター ビジターセンターに立ち寄り、観光プランを立てましょう。ビジターセンターのレンジャー(森林警備隊)に質問してもいいし、出版物、展示物、映画などを参考にすることもよいでしょう。夏の間、ビジターセンターと案内所はすべて開いています。目印は地図の?マークです。営業時間は公園の新聞をご覧ください(Mammoth Hot SpringsのAlbright Visitor Centerは一年中開いています)。

プログラムおよび各種活動 夏の間は、国立公園局、イエローストーン協会、および公園管理業者が、様々なプログラムや活動を提供しています。これにはハイキング、説明、映像・画像プログラム、キャンプファイアプログラム、乗馬、ボート乗り、バスツアーが含まれます。冬の間は雪上車、ガイド付スノーモービル、スキーツアーのほか、説明、映像・画像プログラムも提供しています。詳しくはビジターセンターでお尋ねください。

案内板および自分で巡るハイキングトレイル 車を止め道端の案内板をお読みください。公園の重要な歴史を物語っています。案内板はハイキングトレイルにもあります。これらのハイキングトレイルにはガイド付きのものもあります(英語のみ)。

警告!

イエローストーンは自然の驚異に満ちた危険な自然保護区域です。絶対安全という保障はどこにもありません。公園で起こり得る危険には以下のようなものがあります。

気まぐれで危険な野生動物 動物は遠くからまたは車の中から観察してください。クマに100メートル以内、その他の野生動物に25メートル以内に近づくこと、あるいは危険が起きている場所に何メートルであろうと近づくことは、法律で禁じられています。たとえ鳥であっても野生動物に餌を与えてはなりません。動物に餌を与えると、もっと欲しがり攻撃的になります。その結果、人々に危害を及ぼすことや、射殺されることにもなりかねません。このパンフレットの裏面の「野生動物を観察する」の項もお読みください。

熱水および滑りやすい氷 熱水域の下には熱水が存在し、また多くの池にも熱水が湧き出しています。木道やトレイルから逸れないでください。また、早朝や冬季には木道やトレイルが凍りますので、十分な注意が必要です。

有毒ガス ある種の熱水域では、硫化水素、二酸化炭素、一酸化炭素の濃度が危険レベルに達するほど高いところがあります。気分が悪くなったらただちに熱水域を離れてください。

特にお子様に関する危険な事態

お子様を常に見守ってください。お子様が手も届かず、声も届かないところへ行ってしまうないように。険しい崖、熱水池、冷水湖、小川、野生の動物、信号や標識のない道路の横断など危険がいっぱいです。

公園の道路

時間に余裕をもたせること イエローストーンの道路は狭くて制限スピードも低く抑えてあります。しかも、道路工事のために遅れることや、夜間は通行止めになることがあります。

通行止め 悪天候または道路工事のために、年間を通じていつでも道路が閉鎖される可能性があります。ほとんどの公園入口および道路は11月から4月末まで閉鎖されます。北入口からCooke Cityへの道路は年間を通じて開いています。

交通 野生動物や景色を眺めるときは必ず道路の待避所を使用し、後続車の通過の妨げにならないようにします。また動物が道路に出てくることがあるので、特に夜間の運転は注意しましょう。

公園の入口またはビジターセンターで道路情報を入手してください。また道路情報や天候に関しては、電話(307-344-7381)で問い合わせることもできます(英語のみ)。

クマの王国

イエローストーン全体がクマの王国です。クマに襲われてケガしたり、重傷を負ったり、殺された人々もいます。クマの道に踏み込まないように警戒し、クマの死体には近寄らないこと。またどのような場所・状況であってもクマを驚かさないように注意してください。

クマに近づかないこと! クマは遠くから、つまり最低100メートル離れた場所から観察するようにと法律は規定しています。クマは前触れもなく人に襲いかかることがあります。

クマをひき寄せないこと! たとえ1分たりとも食料品や残飯などを絶対に放置しないこと。残飯はクマ防止用のゴミ箱に捨ててください。食料品、食器類はすべて車のトランクか、キャンプ場のあちこちに設置された貯蔵箱に貯蔵してください。詳しくはこのパンフレットの裏面の「食料品の貯蔵」の項を参照。

クマの被害にあったら(傷害の大小を問わず)、あるいはクマを見かけたり、クマの道を発見したら、ただちに公園のレンジャー(森林警備隊)に報告してください。あなたの報告が誰かを救うことになるかもしれません。

その他の規則および安全情報

車椅子用の施設 『Visitor’s Guide to Wheelchair Accessible Features in Yellowstone National Park』（車椅子で利用できるイエローストーン国立公園施設ガイド）を、公園入口およびビジターセンターにて無料で配布しています。このパンフレットには身体障害者が利用できるトレイル、ピクニックテーブル、キャンプ場、釣り場、奥地のキャンプ場をリストしています。公園のほとんどのトイレは車椅子専用を備えています。

事故 事故やケガが起きたら公園のレンジャー（森林警備隊）までただちに報告すること。

サイクリング サイクリングは公道、駐車場、および指定ルートだけで行い、トレイルや木道には乗り入れないでください。またヘルメットやよく目立つ服装など安全防具で身を守ってください。道路は狭くて路肩もなく曲がりくねっています。ドライバーにはあなたが見えないかもしれません。モーターホームやキャンピングトレーラーのサイドミラーは幅が広いので注意が必要です。サービス施設間の距離が長いことも覚えておいてください。高度は1,615~2,700メートルです。

キャンピング イエローストーンには12ヶ所のキャンプ場があり、うち1ヶ所はRV車（キャンピングカー）専用のキャンプ場です。キャンプ場の開閉時間は公園発行の新聞に掲載されています。予約を受け付けるところもありますが、その他のキャンプ場は先着順です。キャンプ場の予約はXanterra Parks & Resortsに電話(307-344-7311)でお問い合わせください（英語のみ）。予約しない場合は早めにキャンプ場に向かってください。キャンプ場以外の場所でキャンプを張ることや一晩中駐車することは禁じられています。

登山 岩がもろくて砕けやすいため登山はお勧めしません。イエローストーンのグランドキャニオンでは登山は禁じられています。

飲料水 飲料水は携帯してください。湖、小川、川、その他の水源の水を飲むと気分が悪くなるかもしれません。温泉の水はぜったいに飲まないこと。

倒れる木 枯木周辺に近寄らないこと。特に風の強い日には突然倒れることがあります。

焚き火 焚き火は指定のキャンプ場、火格子のあるピクニックエリア、および奥地の指定キャンプ場で行ってください（許可が必要）。枯れ枝や倒木だけを使用してください。

釣りの規制 釣りには様々な規則や季節的な規制があり、許可が必要です。レンジャーステーション（森林警備隊詰所）およびビジターセンターでお尋ねください。

食品の貯蔵 たとえ車の近くでも、ピクニックテーブルの上であっても、食品や残飯を決して放置しないこと。以下の品物は、たとえ新品でも、清潔でも、汚れていても、空っぽでも、いっぱいでも、昼夜を問わず、ただちに使用する場合を除き、クーラー、トラックの荷台、テント、テントトレーラーの内または外に放置してはなりません。水および飲み物の容器、料理道具、食器類、コップ類、コンロおよびグリル、クーラーおよびアイスチェスト、ゴミ、食品、化粧品および洗面用具、ペットフードおよびペット用容器、桶、バケツ、洗面器。

高地 公園の大部分は高度2,275メートル以上の高地に位置しています。時間をかけて高度に慣れるようにし、体力の限界をわきまきましょう。無理をしないように。高度や乾燥気候による脱水症を予防するため水をたくさん飲み、たびたび立ち止まって休憩してください。

ハイキング 公園には無数のハイキングトレイルがあり、距離も長ささまざま、難度もいろいろです。ビジターセンターまたはレンジャーステーションでお尋ねください。

遺失物 遺失物はビジターセンターまたはレンジャーステーションまでお届けください。

医療サービス 緊急事態には911をダイヤルしてください。その他の医療サービスはMammoth Clinic (307-344-7965、一年中開業)、Lake Clinic (307-242-7241、夏季のみ)、およびOld Faithful Clinic (307-545-7325、夏季および冬季の一部)をご利用ください。

モーターサイクル オートバイ、スクーター、バイク等の運転者は有効な州の免許証を携帯し、車体には有効な州のナンバープレートを表示する必要があります。これらのモーターサイクルをオフロードやトレイルに乗り入れることはできません。

ペット ペットはひもでつなぐが必要です。トレイル、奥地、熱水域にペットを連れてゆくことはできません。ペットを道路または駐車場から100メートル以上離してはなりません。ペットを放置したり、物体につないでおくことは禁じられています。

ピクニックエリア 場所は『Official Map and Guide』に記載しています。Madisonだけに飲料水があります。料理には液体またはガス燃料を用いるコンロか、木炭内蔵式グリルだけをご使用ください。焚き火は火格子を備えたピクニックエリアだけで許可されています。ピクニックエリアで一晩キャンプすることはなりません。

シートベルト 車の走行中は全員シートベルト（幼児の場合はチャイルドシート）を使用しなければなりません。

介助動物 盲導犬やその他の介助動物は公園の主な地域に立ち入ることを許されています。奥地では許可が必要です。ビジターセンターまたはレンジャーステーションでお尋ねください。

小川の横断 奥地で魚釣りやハイキングを計画されている場合、最寄のレンジャーステーションで水流の状態を調べてください。

水泳 水が極度に冷たいため、水泳、水浴び、川渡りなどは、お勧めしません。熱水域や熱水域から流れ出る小川での上記の活動は禁じられています。水泳が許可されている場所ではご自分の責任で泳いでください。

窃盗 車はロックし、貴重品は隠し、貴重品には氏名、住所、識別番号を付けてください。窃盗または破壊行為はレンジャー（森林警備隊）まで報告してください。

武器 たとえ武器の隠し持ちが州法で許されていても、イエローストーンでは銃器や武器の所持は一切禁じられています。弾丸を込めない銃器がケースに収められ、分解され、あるいは操作不可能にされ、かつ即座の使用を防止するような方法で保管されている場合に限り、車で運ぶことが許されています。弾薬は車の別の場所に保管しなければなりません。

以下の活動には許可が必要です

- ◆ 奥地でのキャンピング
- ◆ 介助動物を奥地へ連れてゆくこと
- ◆ 魚釣り、ボート乗り、チューブ川下り
- ◆ 奥地のキャンプ場で焚き火をすること

許可はビジターセンターまたはレンジャーステーションで得てください。

以下の活動は法律違反です

- ◆ イエローストーンのグランドキャニオンを登ること
- ◆ スピード違反（レーダーで監視）
- ◆ 飲酒運転
- ◆ ふたの開いたアルコール飲料を車の中に置いておくこと
- ◆ トレーラーをけん引していないときに取り外し可能なサイドミラーを付けたままにしておくこと
- ◆ オフロードを車または自転車で行くこと
- ◆ 正しくない方法で食品を貯蔵すること
- ◆ キャンピング法規に違反すること
- ◆ ペットをひもでつながないこと、ペットをトレイルや木道に連れてゆくこと
- ◆ ごみを散らすこと
- ◆ 熱水池で泳ぐこと
- ◆ 熱水域で木道から逸れること
- ◆ 自然物または文化物を持ち帰るか所有すること（例：枝角、岩石、花、矢じり等）
- ◆ 野生動物に餌を与えること
- ◆ エルク、シカ、その他の動物を観察するためスポットライトを当てること
- ◆ エルクの鳴声をまねたり、らっぱ手を使って呼び寄せること
- ◆ オオカミの遠吠えをまねること
- ◆ 野生動物を追跡できる電子機器を使用すること

以下の番号を覚えておくと便利です

25 = すべての野生動物から離れておくべき距離（メートル）クマは例外

100 = クマから離れておくべき距離（メートル）

45 mph/72 Km/h = 表示のない場合の公園内での最高制限時速（マイル/キロメートル）

911 = 緊急事態の電話番号

天候

年間を通じて氷点下の温度や嵐に備えてください。雷雨は珍しくありません。水際や浜辺、尾根、露出した場所や孤立した樹木から離れてください。カレンダーや天気予報がなんと重なるをし、暖かいジャケットや雨具を携帯しましょう。天気関連情報についてあらかじめビジターセンターに問い合わせることをお勧めします。

サービス施設

イエローストーンには雑貨店、宿泊施設、レストラン、ガソリンスタンド、キャンプ場があります。ほとんどのサービス施設は公園内の主な場所で6月から8月まで営業しています。サービスは公園外の町でも利用できます。

夏のピークシーズンの前後にはこれらのサービスは限られます。サービスの開始日と終了日は公園入口で配布する新聞に掲載されています。

野生動物を観察する

- ◆ 指定の待避所に車を止め、車が完全に道路から離れていることを確認すること。
- ◆ 車のレバーを駐車的位置にし、サイドブレーキをかけること。
- ◆ 車から出る場合は、動物が近づいたとき、ただちに車に戻れるように車の近くにいること。
- ◆ 道路に立って、野生動物を観察したり写真を撮らないこと。
- ◆ 野生動物に近づかず、野生動物を取り巻かず、追いつめず、追跡しないこと。
- ◆ 動物の行く手を遮らないこと。
- ◆ 突然動いたり走り出さないこと。これらの動作は動物を攻撃的にする原因になります。
- ◆ 他の人々のせいでああなたが危険な状態になった場合、現場を立ち去るか、公園のレンジャー（森林警備隊）に報告すること。
- ◆ 鳥を含めて野生動物に餌を与えないこと。